

#### 第4回 教科用図書採択審議委員会

日 時 令和5年8月8日（火）

14：30～16：30

場 所 佐世保市役所4階 第1委員会室

○事務局 それでは、ただいまから令和6年度使用小学校教科用図書第4回採択審議委員会を開会いたします。

それでは、初めに、人事発令通知書を交付いたします。

学校教育部次長が栗林委員の前に参りまして交付いたしますので、その場で御起立いただき、お受け取りください。

○事務局 人事発令通知書。栗林俊明。令和6年度使用小学校教科用図書採択審議委員を命ずる。発令期間、令和5年8月1日から令和5年8月15日まで。令和5年8月1日、佐世保市教育委員会。

○審議委員 8月1日付で学校教育部長を拝命しました栗林といいます。8月1日付で採択審議委員を命ぜられましたので、どうぞよろしく願いいたします。

○事務局 本日は、今、お一人後ほど来られるということで、全ておそろいではありませんが、全ての委員の皆様の御出席ということで、佐世保市教科用図書採択審議委員会条例第6条第2項にのっとり、会を開催させていただきます。

本日が第4回ということで、最後の採択審議委員会となります。前回の審議委員会に引き続き、教育委員会に採択していただく教科書について御審議いただき、全ての教科、領域について2から3者を決定していただくこととなります。そして、本日の審議結果をあさって10日木曜日、9時30分から行われる前期教育委員会において、委員長様から御報告いただきます。よろしく願いいたします。

また、会の終了後、これまでに配付いたしました資料は全て回収いたします。資料は机上に残置したまま退出していただきますようよろしく願いいたします。

それでは、これからの進行を委員長にお願いしたいと思います。よろしく願いします。

○委員長 では、皆さん、改めまして、こんにちは。

では、これより第4回になります採択審議委員会を始めたいと思っております。先ほど教育委員会事務局からもお話がありましてとおり、本日が最終日になりますので、あわせてどうぞよろしく願いいたします。本当にこれまで3回、熱心な御協議をしていただき

まして、本当に感謝申し上げます。

今、話がありましたとおり、本日の結果を受けて、この後、前期教育委員会に私のほうが参りまして、各教育委員さん方に報告をしたいと思っておりますので、報告をするにはするだけのしっかりとした議論が必要になってまいります。どんな些細なことでも結構ですので、どうぞ思ったこと等たくさん御意見を出していただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、前回の引き続きということになりますが、まず前回の確認をしたいと思えます。まず、国語は、東京書籍、教育出版、光村図書の3者、書写は、東京書籍、教育出版、光村図書の3者、社会は、東京書籍、教育出版、日本文教の3者、それから、地図は、東京書籍、帝国書院の2者。算数は、東京書籍、教育出版、啓林館の3者、音楽は、教育出版、教育芸術の2者。図工は、開隆堂、日本文教の2者。家庭科は東京書籍、開隆堂の2者でございます。

今回は理科、生活、保健、外国語、それから道徳の審議に入っていきたいと思っております。

○委員長 大学の先生やPTAの連合会等、の目線に立った、保護者や地域の目線に立った、そういう立場で見ただけであればありがたいなと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、まず、理科から始めていきたいと思っております。選定委員会からは、大日本図書、教育出版、啓林館の推薦をいただきました。お手元に教科書も配られておりますので、確認をしながらという形になるかと思えます。選定委員会のほうからは、理科として、大日本図書は、佐世保市の自然などを深める学習に、特に生かすことができるのではないかと、教育出版は、理科の見方・考え方が明記してあって、スムーズに学習ができるのではないかと、啓林館は、問題解決学習に生かして、暮らしと関係づけて学習ができるのではないかとというような御意見もいただいておりますので、まずはお手元にございます理科の教科書を見ていただいて、その後、御意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。では、10分程時間をとりますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### 〔教科書研究〕

○委員長 それでは、よろしいでしょうか。御意見をいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○審議委員 文言なんですけど、大日本図書の佐世保市の自然などを深めるこの趣旨は、自然などの理解を深めるというか、何を深めるのかというのが不明確だと感じました。佐世保市の自然などの理解を深めるに文言を追加して自然などの理解を深める学習に生かせるというようにした方がよいのではないかと思います。

○事務局 おそらく選定委員会の意図もそのようなものであらうと思いますので、修正をさせていただきます。

○委員長 佐世保市の自然などの理解を深める学習に特に生かせることができるということが大日本図書の文面にあるということですが、実際のところは何かあるのですか。

○審議委員 それぞれ5者の教科書の中に、自然と親しむということで、佐世保のことも題材として取り上げられているところが多いんですけども、大日本図書は入門期の3年生から各学年に佐世保市の自然の材料が、特にそれと、どちらかという、自然という火山の噴火があったところということの周りですけども、それ以外に食のことも含めて自然のことが取り上げられているところが大きいかなと思っています。

○委員長 なるほどですね。大日本図書の、いわゆる佐世保市の自然などの理解を深める学習にというところで、3年生以降にそういうこと、ある程度佐世保のこと等を特にひもづけられるようにはしっかりと載っているということが特長になるということですね。

ほかに何か御意見ございますか。

○審議委員 私は4年生の人体のところを、ちょっとみんな各社共通だったので見たんですけども、啓林館と大日本図書はQRコードがついて、そこからICTが教育につながるようなことができるんですけど、教育出版はその項目にはないんですよね。そのページにはどこにもついてないなと思いました。前のほうにはついているところもあるみたいなんですけど。

それと、あと、大日本図書は、ほかの2者は絵ではなくてレントゲンとか写真とか、そういうのは載っていたんですけど、大日本図書は絵と写真だけで、レントゲンみたいな具体的なものは載っていないなと感じました。

○委員長 ありがとうございます。大日本図書と、それから啓林館のほうにはもうそこに、人体のところに特化したところでQRコードがしっかり入っているということでございました。それから、教育出版、啓林館のほうは写真、レントゲンがしっかりと載っているなど、より工夫がされているのではないかと思います。

○審議委員 私は特に啓林館と大日本図書を中心に見たんですが、啓林館はまとめのノー

トというのがついていて、そのまとめ方、最後にまとめてあるのが分かりやすいのかなど。それと、新しく学習した言葉とか、そういうのも書いてありますので、子供たちは最後のまとめのノートを見れば分かると言ったらおかしいんですけども、しっかりまとめ方というのを示してあるのが、子供たちには何となく分かりやすい示し方ではないかなと思いました。

○委員長 啓林館の特長としては、最後にまとめのノートというところで、その単元内のところがまとめられるというところがあって、子供たちが学習した後に確認できるというところ、非常に大きいということですね。ありがとうございました。

○審議委員 私は啓林館が、問題から始まって結論のところまで一連の流れがあって、親が見て分かりやすいかなと思いました。大日本図書のほうはデジタルコンテンツが全ページにあって、それを全部めくってないので、その二次元コードのところ分からないんですが、教科書だけを見るとプロ向けの教科書なのかなと思いました。

○委員長 ありがとうございました。

啓林館のほうは問題から結果ということで、保護者の方々が見てとても理解がしやすいような状況であるということでございます。

全国学力・学習状況調査の中で理科が今回あって、佐世保市の子供たちの状況が若干厳しい状況があるとすれば、いわゆるまとめのノートのようなものがあつたほうが子供たちにとってはいいのでしょうか。

○審議委員 子供たちの状況は、多分平均いっているかいていないかだと思っんですね。そう考えると、あまり興味がない子にとっては、まとめがあるほうが分かりやすいと私は思います。ある子にとっては、大日本図書みたいに発展的な問題があればどんどん先に進んでいくというのものもあるんですけども、そもそも関心がある子は自分でどんどんやっっていくというのが多いですので、基礎をしっかりとという意味でいくと、まとめがあつたほうがいいのかなと思いました。

○委員長 そうですね、ありがとうございました。

発展的な学習ができてくるということを考えてみると、大日本図書のほうが子供たちにとっても次の学習に対してというところは出てくるのかな。啓林館はしっかりと基本を押さえていくという形になっているということになるのかなと思います。

長崎県自体が、全国学力・学習状況調査というのがかなり厳しい部分もあるというのがありますので、基本的なところをしっかりと押さえているということも必要になってくる

かなというふうに思っています。他に御意見等ございませんでしょうか。

では、理科は、大日本図書、教育出版、啓林館の3者を採択審議委員会として教育委員会に推薦するというところでよろしいでしょうか。（「いいです」「これでいいです」と呼ぶ者あり）

次に、生活科で、選定委員会からは東京書籍、光村図書、啓林館の3者の推薦をいただいております。お手元に配られていらっしゃるでしょうか。

それでは、選定委員会のほうからは、東京書籍は学習のマナーなど、児童に考えてほしい点に分かりやすく示してあり、社会規範や道徳性を身につけることができる、また学習のマナーや社会規範、道徳性を身につけることができると考えられるという報告がありました。光村図書は教科書全体を通して、イラストや言葉の隅々に子供それぞれの感じ方や成長を大切にしようとする姿がある、多様性や安心感が重視されていることがいいという報告がありました。それから、啓林館は自然との関わりを大切にした構成となっている、動植物に親しみを持ち、生命を大切にしようとする態度を養うことができるのではないかと報告がありました。

多分、皆様が小学校の頃には生活科というのとはなかったと思います。生活科というのはどんな教科なのかというのを事務局から話をさせていただきます。

○事務局 平成4年度から施行された教科だと思えます。子供たちがまず遊ぶというところ、1、2年生であれば遊ぶとか、自然を体験するという、今、子供たちが不足している部分を学校で、教育で補うというところで始まったのが生活科という教科でございます。

○委員長 だから小学校1、2年生には理科と社会は。

○事務局 ないです。

○審議委員 幼稚園の流れですね。

○事務局 そうですね、遊びを通してという。

○審議委員 遊びを通してということですね。

○委員長 理科、社会という教科がなくて、生活科という教科が入っているということですね。それでは、10分程時間をとりますので、生活科の教科書を見ていただければと思います。選定委員会から上がってきた3者以外の分もよろしく願いいたします。

〔教科書研究〕

○委員長 では、よろしいでしょうか。見ていただけましたでしょうか。

それでは、生活科、先ほどお話がありましたとおり、小学校低学年の中で遊びを通しな

がら学習をしていく、社会のこと、あるいは理科のこと、そういうようなものを含めてということになっております。見ていただいて、御意見などございませんでしょうか。

○審議委員 啓林館の教科書なんですけど、東京書籍にもあったんですけど、友達を褒める、友達のいいところを見つけるページがあったり、どうしたらうまく伝わるんだろう等の内容があったりと、心の教育にはすごくいいのかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

佐世保市が一番重点的なところの一つであります心の教育というところ、大きなところかと思えます。そういう意味ではそういうのがしっかり書かれているというのがとても大切なことだと思います。ほかに何か御意見いただけませんかでしょうか。

○審議委員 私はちょっと光村を見たんですけど、これ、子供が何かふっと入りそうなイラストとかがあって、また、文字も太くて、例えば、私、今日、安全に気をつけようというページをずっと見たんですけども、ここ分かりやすく、文字も大きくて、その言葉の意味というか、それがイラストにもしっかり入っていて、ほかのどこよりもよかったかなという感じがしています。

○審議委員 そのこの部分のページで見れば、ここはやっぱりいいかなという感じがしました。

○審議委員 安全に気をつけようということで、道具の使い方とかをまとめてあるのが分かりやすいかなと感じました。別冊にして。

○審議委員 すごいよかったなと思えます。

○審議委員 イラストで分かりやすく、物の使い方、大切にしようというのをまとめてありました。

○委員長 光村図書の場合には、文字やイラストが大きいということと、それが別冊になっているということですね、広がる生活辞典とかいう。

どうですか、その辞典等が使いやすいとか、御意見はありませんか。

○審議委員 使いやすく、まとめてあるので。最初に注意をするとき、はさみの動かし方、使い方、渡し方、そういうのをもしかしたらおうちで身につけてない子にとっては、この絵を見ながら先生が注意するというか、指導するとか、分かりやすく。

○委員長 ほかにいかがですか、御意見ございませんでしょうか。

○審議委員 先ほど光村の名前は上げてなかったんですけど、光村にも、友達のいいところを見つけようとか、そういうページもありました。先ほど委員が言われたとおり、イラ

ストが多く、小さい子供には分かりやすいかなと思います。

○委員長 このフォーマットでいいですか。別冊がついているというのが非常に魅力的なところもある反面、それが使えるの、使えないのというところがあって、以前もたくさん付録みたいなものがついていた教科書があって、そこに飛びついたけど、なかなか使い切れなかったという部分があったりもしているんですけど、どうですか、その別冊は。

○審議委員 授業に入る一番最初に使うときには、これ、分かりやすいのかなと。きりの使い方など。多分、家庭ではきりとか使っていないと思います、段ボールカッターにしても。そういうのを最初に授業で、こういうふうにするんだよということを図で示してありますので分かりやすいと、使いやすいと私は思います。

○委員長 ありがとうございます。別冊の部分の導入とか、最初に使うときには使いやすいような形が取ってあって、先生方にとっても非常に使いやすいのではないかっていう御意見でございます。

○審議委員 私は、秋の部分、「あきをみつけよう」を見たんですけど、啓林館はもう写真がきれいですね、どれも。それから、木の実ももう実物をそのまま写真に撮って載せてあるので、すごく分かりやすいというか、本当に自然が伝わるような感じだなというのを思いました。

○委員長 ありがとうございます。啓林館、心の教育もできます。それから、写真などが多く使われているってようなことでございます。

○審議委員 東京書籍は学習のマナーなど、児童に考えてほしい点がわかりやすく示してあるのは特長かなと思います。

○審議委員 写真がやっぱりいろんな種類のものがあって、興味を持ちそうでいいと思います。

○委員長 さっきありましたように、文字、イラスト、写真ですね。

○委員長 ほかの出版者の部分ではいかがですか、よろしいですか。

それでは、生活科は東京書籍、光村図書、啓林館の3者、御意見なければ、3者から2者ということですので、例えばもう光村、あるいは啓林館のこの2者という推薦でもよろしいのかなと思っておるんですけども、よろしいですか。

事務局としてはいかがですか。2者から3者ということ、3者選ばずに2者ということでも可能ですか。

○事務局 教育委員さんの御意見もお聞きしたいところであるんですが、2者でも差し支

えはないでしょうか。2から3者ということでも。

○教育委員 皆さんで同意もらえたら、そのほうがありがたいと思います。

○委員長 選定委員会からは3者上がってきておりますけれども、審議委員会としては、2者、光村図書、啓林館という形で上げていくということによろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、審議委員会として、光村図書、啓林館の2者を教育委員会に推薦したいと思います。

次に、保健でございます。選定委員会からは、大日本図書、光文書院、学研の推薦をいただいております。これからお手元に配付されると思います。

大日本図書は、SDGsの持続可能な開発目標の取組と保健学習の関連について取り扱うなど、視点が明確になっていたという点が上げられる。光文書院は、本市の体育副読本との関連があり、文章表現が簡潔で、言語活動を設定しやすいという点が上げられる。学研は、成長の個人差理解の工夫、心と体が相互に影響する科学的理解の工夫、喫煙や飲酒の断り方、ロールプレー資料の掲載に加え、全体的に優しい色遣いで、落ち着いた学びができるようになっているという推薦理由が上がっております。

本市の体育副読本との関連があるという報告がありますが、本市のいわゆる副読本というのがちょっとお分かりにくい部分があるかなと思いますので、事務局から説明をお願いします。

○事務局 副読本は体育の実技で、例えばマットの場づくりの仕方とか、技のポイントですとか、そういった実技の副本として、資料として使っているものになります。そことの関連性があるというような指摘でございます。

○委員長 ですから、佐世保市は現在、光文書院の副読本を使っているということで理解すればよろしいんですかね。

○事務局 はい。

○委員長 現在、佐世保市で使われている副読本が光文書院の副読本を使用しているということのようです。それでは、10分程時間をとりますので、教科書を見ていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 〔教科書研究〕

○委員長 では、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、御意見をうかがいたいと思いますが、今、保健体育のほうで選定委員会からは大日本図書、光文書院、学

研の推薦が入っておりますが、ほかの分も見ていただいたと思うんですが、何か御意見ございましたらお願いいたします。

○審議委員 個人的に、学研さんが見やすかったかなという印象を持ちました。QRコードがついていて、動画もとても見やすかったです。多分学ぶという観点から見ても、すごくいい教科書じゃないかなというのは感じました。

○委員長 ありがとうございます。非常に見やすいと言えますね。

選定委員のほうからも、いわゆる全体的に優しい色遣いで、落ち着いて学びがしやすいというのがありますけれども、言われるように、非常に見やすい教科書になっているということ。あるいは、QRコード等も非常に豊富で見やすいような状況であるということですね。ほかに御意見等ございませんでしょうか。

○審議委員 ここに上げてもらったのもそうですけど、自分の考えを書き込めるというのが僕は、ものすごくいいかなと感じたところです。自分の意見とか、日常の生活に振り返ったときに、例えば事故の起こり方だったら、どういうところを振り返ったらいいだろうとか、けがをしないためにどうしたらいいだろうなど、自分の考えを書けるようになっていくところは、とてもいいと思います。

○委員長 学研だけですか。

○審議委員 これは大日本、光文書院、学研の3者ともあります。この3者に共通してとてもいいなと思うのが、いわゆる書くこと、自分の考えを書くということで整理をしていくということが非常にいいのではないかということですね。でも、それは道徳にとってもいいことでしょうし、いろんなことで自分の考えを書いていくということで頭の中でまとめていくという、これもとても大切なことだと思います。そういうのが3者あって、自分で自分の考え方をまとめていく、頭の中で整理していくというのがとても大切なことかなと思います。というのも、小学生ぐらいのときには、抽象的な概念とか頭の中で考えたことをそのまま言語化するというのは非常に難しいので、その間に書いて自分でまとめるということですね。ありがとうございました。ほかに何か気づき等、ございませんでしょうか。

○審議委員 3者上げてありますけど、私は個人的に光文書院と学研がいいのかと感じました。

○審議委員 そうですね。私も同感です。

○委員長 今、光文書院、学研がいいなという意見が出ておりますが、皆さん、いかがで

しょうか。

○審議委員 同意見です。

○委員長 ということは、これも2つ、3者じゃなくて2者推薦という形でよろしいですか。

○審議委員 （「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、保健は、本採択審議会では、光文書院と学研の2者を教育委員会へ推薦するという形でよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

では、次に、英語なんですけれども、若干白熱したお話をさせていただいておりますので、10分ほど休憩を取りたいと思います。休憩をしながらでも結構でございます。今から事務局のほうが英語の教科書を出してくると思いますので、それを見ながらでも、ちょっと水分補給等も併せてしていただければと思います。では、休憩に入ります。

〔休 憩〕

○委員長 では、時間になりましたので続けます。英語でございます。選定委員会からは、東京書籍、三省堂、啓林館の推薦をいただいております。お手元の分を確認をしていただければと思っております。いわゆる5年生、6年生で使う教科書になります。3年生、4年生は、文部科学省のほうが発行しております「Let's Try!」というものを使用して学習をしているということでございます。これを受けて、5年生、6年生で使う英語の教科書になるということでございます。

東京書籍は、どの単元においてもめあてが明確であり、具体的に組み立てる工夫がされている。三省堂は、各単元で児童が確実にステップアップできるように、スモールステップの単元構成がなされている。啓林館は、単元内の活動過程が目的別に配置されており、段階を追って知識・技能が身につく工夫がされているという報告がでございます。10分程時間をとりますので、見ていただければと思います。よろしく申し上げます。

〔教科書研究〕

○委員長 よろしいでしょうか。それでは、英語についてでございます。英語は、東京書籍、三省堂、啓林館、この3者が選定委員会からは上がってきています。先ほどPTA連合会のほうからちょっとお話がありまして、今、いわゆる小学校の外国語科というか、英語がどんな状況で子供たちに指導しているのかというお話がありました。小学校の状況等を審議委員さんから少しお話をさせていただければありがたいなと思いますけれども、よろしいでしょうか。

○審議委員 基本は、担任が教科書を使って授業を進めていく。そこに週に1回とか、限られた時間なんですけれども、ALTのネイティブの発音をされる方が来られて、授業と一緒にしていく。あくまでも指導は担任がやっているという状況です。

○委員長 というのが今の現状であって、中学校あるいは高等学校等については、いわゆる専科の英語の先生が授業をしているということでございますが、小学校の場合にはそうではなくて、国語とか社会とか算数と同じように担任の先生が中心として指導をしている。そういう状況の中での英語でございますので、小学校の先生、とても大変で、体育もしなければいけないし、ピアノも弾かなくてはいけないし、逆上がりもしなくちゃいけないし、その上、また英語もっていうことになるととても大変だと思いますので、基本やはり、子供たちもそうでしょうし、先生方が非常に使用しやすいというようなもの等というのも頭の中に入れなくてはいけないのかなという思いもあります。御意見いただければと思います。

○審議委員 3者とも見たんですけど、東京書籍は、何か私、ワークブックに見えて、教科書ではないような書き込み方タイプで、何かワークブックみたいで、まとめられてはいると思うんですけど。あと、啓林館は、やっぱり学んだことの広がりがあるかなという感じで、語彙力を高めるというところで、後ろのほうのワードリストとか挨拶など、それぞれの分野ごとに単語が載っていて、子供たちが英文を考えたりするときに参考になるような書き方になっているんじゃないかな。語彙力を高めるということでは、こういうのがいいのかな。今、中学生なんか辞書、和英とか使って、こういう文をつくったりするんですけど、そういったところにもいいのかな。広がりを感じたところです。中も指導しやすいんじゃないかなと、私はそういうふうに思ったんです。

○委員長 今お話がありました東京書籍、啓林館のほう、広がりがあって、語彙力を高める、そういうようなつくりになっているのではないかという、そういうお話でございました。ほかに御意見いただければと思います。

いかがですか、保護者の立場でとか、見ていただいて。

○審議委員 3者とも二次元コードがそれぞれのページにあって、親が発音できないので、ヒアリングが聞き取れるのはいいなと思ったんですけど、三省堂の教科書「CROWN Jr.」のほうが多分QRコードを読み取らないと、ここのレッツ・リッスンが動かないのかなと思うんですけど。それが果たして使いやすいのか、使いにくいのかということは私には分からないのですが、そういう違いがあるかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにお気づきの方、おられましたら。

○審議委員 小学校の立場で。小学生が勉強する量が多過ぎて、かえって英語を嫌いになってしまう子が多いのではないかなと思います。ちょっと否定的な言い方というか、マイナスのイメージを私、今言っているんですけども、やはりある程度絞って、分かりやすく、外国ってこんなもんだよ、日本語と文のつくりが違うんだよとか、そういうふうなことをしたほうがいいのかなど。あまりにも量を多くし過ぎると、かえって英語嫌いになってしまうのではないかという気がいたします。そういった意味では、少し中身を軽くしたほうがいいのかなどという気持ちであります。個人的には東京書籍の「HORIZON」が一番、私の中では軽い気がいたしました。

○審議委員 私は英語と英会話ってやっぱり全然違うと思うんですよね。英会話って多分、さっき審議委員が、今はマイ・ネーム・イズとは言わず、アトムと言うんですよ。以前、コマーシャルか何かで言っているのを通訳している人がいて、ザッツ・ライトですね。それは明るいついていう。ザッツ・ライトといたら、そのとおりですよ。それがもう英語と英会話の違いだから。

誰かが言ったんですけども、ディス・イズ・オン・ミーって、それは何か簡単な英語みたいなんですけども、これは私のおごりですとか、こういうのが英会話ですよ。外国に行ったときに、やはり英語より英会話のほうが必要じゃないかなと思いますので。外国の歌とか聞いていけば、何回でも聞いていくと、あっ、こういう歌なんだとか、マイウェイとか、カーペンターズのイエスタデー・ワンス・モアなんか、何回も聞くと意味が伝わってくるものですね。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。ほかにも御意見ございませんでしょうか。

○審議委員 三省堂はもう老舗の教科書だなという感じを受けましたね。東京書籍と三省堂を比べると、やはり東京書籍のほうがイラスト等もちよつとあか抜けているのかなという、現代風かなというふうに感じましたし、教科書の厚さ、重さからしても東京書籍のほうが一番、審議委員がおっしゃったように、中身を絞ってあるのかなというふうに思いました。

○委員長 御意見ございませんか。ほかにも御意見、ございませんでしょうか。

○審議委員 次の中学校にどうつながっていくのかなというところが分からなくて、中学校になると、もうまさに教科というか、点数を取るとか、そういったところがあると思うので、小学校の段階でどこまで求め、求めるというか、バトンタッチできるのかということ

ころでいくと、どれがいいですかね。私たちは「NEW HORIZON」だったかな、小学校から中学校の教科書に上がったときの具合も必要な観点かなと思うんですけど。

○委員長 いい御意見をありがとうございました。他に御意見ございませんでしょうか。

○審議委員 少し先に教科書のほうの話をさせていただければ、3者選ばれてないところと選ばれたところを、比べてみたんですけども、大きく感じたのは、選ばれてない3者は1時間の中で何を教師が指導するのか、何を子供が学ぶのかということが教科書の中で明確さが少し足りないのかなと。そこのところが、英語の専門じゃない先生が教えるときに、1時間の中で何をしっかり指導するのか、何を学ぶ、子供たち自身、また何を学ぶのか、本当に入門期ですよ。英語圏の子供たちではないので、そういった中でその3者を選ばれたのかなと感じながら見ました。

私も3者を見て比べたときに、やっぱりそれぞれ御意見があって、理想的に言えば、外国の文化を理解しながら、それを英語で表現したりとか、その中で語彙を身につけていくということが理想かなと思うんですけども、やはり本当に英語に今までほとんど接していなかった子供たちが教科書を使って勉強する、あと、シンプルなキーセンテンスがあって、それを基に自分のことを表現したり、友達のことが表現されたことを分かるという、英語の学習という、英会話も含めてなんですけども、そのシンプルな英語の学習というところが中学校につながっていく。それを中学校の中で、また高校で系統的に、文法も含めて勉強するのかなと思っています。

そうなったときには、この3者それぞれよさがあるんですけども、バランスが取れているところで見れば東京書籍、先ほど言った理想的なところで見るときに、異文化理解というところを通して英会話を勉強するのは啓林館、三省堂はどちらかというときに本当にオーソドックスな、審議委員が言われた、本当定番の教科書で、しっかりと文法的なことも確認しながらできるのかなというように感じました。やはり日本の子供たちが勉強するのであれば、シンプルな英語を使って、授業の中でどんどん自己表現をしたり、他者の表現を聞いたりして、英語に触れていく中で中学校につながっていくのかなと思っています。

○委員長 ありがとうございます。中学校でそうやって学んで、最終的に高等学校でまた学んでいくんですけど、基本、大学入試が変わらない限り高校入試は変わらないとよく言われて、若干今回、英検が何級取ればもういいよというようなものがどんと出ました。高等学校の、あるいは大学の目線から審議委員としてはいかがですか、英語の教科書で。

○審議委員 審議委員のおっしゃるとおり、まず、ここに残っている3者というのは非常

にいい教科書だと思っています。私も自分の教科になると、これがいい、あれがいいとなかなか慎重になってしまうんですけど、いろんな委員さんがおっしゃったように、何ていうかな、書く場所が非常に多い、ワークブックのような教科書というのも、東京書籍に多いんですけど、これ、逆に言うと、いわゆるワーク、主体的に書く活動をたくさんというので、中学校へつながりやすいんじゃないかと思います。

ただ、教える側に立ちましたら、いろいろ三省堂さんのような、いろんな題材という、イラストがたくさんあったほうが教えやすい、題材がたくさんその場にあるので教えやすいというのがあるのかなとか思ったりします。だから、僕も小学校で英語を教えるというのは、次元がちょっと違う、大変だなと思うんで、あんまり言えないところはあるんですけど、そんなところかなと思うんですね。

○委員長 ありがとうございます。本当、とてもいい。

今考えられるのは、結局、前回のいわゆる選定委員会の中での発言の中に、これまで使っていた、または今使っている教科書だからというような御意見が少し出たかなと思うんですけども、先生方にとっても使い慣れているからというところも一定理解できるなど思いながら聞いてたんですよ。

ただ、例えば10年とか長年ずっと続けている教科書に対しては、去年も使っていたから、前回も使っていたからというのはどうなのかなという疑問は感じるんですけども、この何年かの中でということはどうなのかなとか。その辺も含めて御意見いただければありがたいなと思うんですけど、いかがでしょうか。

○審議委員 それが重視されるともう教科書が決まり切ってしまうので難しいと思うんですけども、そういった視点も私は要ると思います。特に子供たちにとっては、まだ入門期の5年生で勉強する。それが続くというときに、なれ親しんだところがあるのは安心感はあるとは思いますが。

○委員長 そういう意味、それは先生方にとっても、これが本当10年も15年もということであれば大きな問題にもなるんでしょうけども、今使っているのがいきなりまた変わったということになって、再度という負担も考えられるのかなということも一つかなと。ほかの教科書は別だと思うんですけども、英語に関してはそういうのも一つかなということもありますし、あと、やはり、今までは佐世保市の子供たちにとって一番いい教科書はどうなのかという話が基本になっていたんですけど、英語の場合にはそれとともに、先生方にとって一番使いやすいのはどれなのかということも一つの視点にもなってくるのかな。

これは今年度までかな、次回からはもうないのかなとか思いながらしているんですけども、その辺も含めていかがですか。今お話の中では、やはり東京書籍、三省堂、啓林館というのは、他の教科書に比べるとなかなか作りはしっかりしているということでございましたけども、あわせて何か御意見がございましたら、お願いします。よろしいでしょうか。

それでは、英語は、本採択審議会では、東京書籍、三省堂、啓林館の3者を教育委員会へ推薦するというところでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

では、最後になりました。次は道徳でございます。道徳は、選定委員会から東京書籍、教育出版、光村図書の3者が上がってきています。

○審議委員 全部で6者です。東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、光文書院学研です。

○委員長 一応、選定委員会からの推薦は東京書籍。道徳の学習指導要領に児童が自分自身の問題と捉えとあり、そのために教材後の発問や巻末のツール紹介など、効果的な指導の工夫が提示されている。それから、教育出版。現代社会の課題であるいじめ、情報について、クラス編制後の年度当初に設定してあることから、課題の重要性を強く認識していることが分かるという。それから、光村図書。道徳の学習指導要領に議論する道徳とあり、教材末の「考えよう」「話し合おう」コーナーに、議論が活発に行われるような工夫がなされている。選定委員会からは、以上のような報告がなされています。

それでは10分程時間をとりますので、6者の教科書を見ていただければと思います。よろしくをお願いします。

#### 〔教科書研究〕

○委員長 では、よろしいでしょうか。選定委員会から上がってきた3者を中心に他の教科書も見ていただいていたと思います。道徳というのが多分、皆様方の頃は教科ではない、教科書がなかった時代ではなかったかというふうに思いますが、道徳が教科になって、そして、その中で教科書が出来上がったというところでございます。

佐世保市といたしましても、一連のいろんな事件、事故等がございました。それで、生命尊重とか、相手を思いやる心とか、そういうような思いとか、そういうようなものを中核にした形で先生方も指導もなされているのではないかというふうに思っております。含めて、そういう形の部分の中でも、非常に子供たちにとって一番いい教科書はどれなのかという形になるかと思っておりますけども、何か御意見ございましたらお願いをいたします。

○審議委員 メディア教育について分かりやすかったのが光村図書で、インターネット上の権利がある前に、少し漫画形式で、SNSに投稿したらこんなことになったという課題、問題が書いてあって、統一的にはこういうプライバシーの侵害とかいう権利があるんですよというところが書いてあるなど、そういう部分が一番詳しく書いてあったのが光村さんかなと思いました。光村図書の長が、話し合ってみようという、選定委員会でまさに書かれていたところなんですけど、話し合うことで自分の考え方が周りと一緒にであったり、異なる状況であったり、違うことが別におかしなことではないということを学んでいくのかなというふうに感じました。

○委員長 ありがとうございます。今、いわゆるメディア等々にも、これからの子供たちにとっては考えなければいけない一番大きな事項の一つではないかなというふうに思っております。それが、系統的に、重点的に光村図書には多くあるという。あわせて、いわゆる議論する道徳、話し合っていこうというところも含めて形で出されているという部分があるという、そういうことでございます。ありがとうございました。ほかにございますか。

○審議委員 3者、どれも考えようとか話し合おうとかいうことで、勉強したことを自分の言葉でもう一つ深めようという議論する道徳とかいうのがあるんですけど、それはどれも載っていると思います。

私は1年生の一番最初を見て、挨拶のところがどの教科書も載っているんですが、3者、東京書籍、光村図書、教育出版に出ているんですが、挨拶に関していえば光村図書が、行ってらっしゃいという言葉をお母さんが言って、それに対する返事を子供が書くようになっているはずなんです。ほかのところは手を振っているのに対して、自分だけ書くというふうになっているんですけども、何を言いたいかという、今、行ってらっしゃいと言って、行ってきますと返ってこないんですね。「行ってらっしゃい」と言ったら、「はい」という返事が返ってきます。「はい」という返事が返ってくればいいほうで、返事もしない子も多いんですけども、そういうふうに具体的に「行ってらっしゃい」、「おかえり」に対して「ただいま」と言うとか、そういうところが書いてあるんですね。そういった意味では、一番最初の基礎を知ってもらうにはありがたいなと思っています。それが光村図書でした。

絵も三者三様いろいろあるんですけども、ちょっと昭和レトロの絵を使ったりとかして、光村図書の絵は少しインパクトがあるのかなと感じました。

○委員長 ありがとうございました。挨拶の中で、「行ってらっしゃい」とか、「お帰り

なさい」とか、「ただいま」というのはとても大切なことですし、いわゆる地域との関わり合いの中で非常に今、大切です。通学路に立っていただいている方々もいらっしゃいます。その中でも、やはり「行ってらっしゃい」とか、それに対して「行ってきます」という言葉が返ってくるか、返ってこないかとか、いろんなところで地域の方々と学校とのやり取りもあっているようでございますけれど、そういう意味では、光村図書は返事の部分が入っているという、そういうことが、3者とも考えようという、話し合おうというところで、しっかり議論する道徳というのは含まれているけれども、その中で光村図書がしっかりしているということでした。

ほかにお気づき点ございましたら、お願いいたします。

私が気づいた部分というか、面白いなと思ったのは、小学校1年生の3者の道徳の中に「はしのうえのおおかみ」という題材がございまして、同じ教材をどのように各教科書会社が扱っているのかなという、見比べるというのは面白いのかなと思っております。この3者の中に「はしのうえのおおかみ」という題材が入っています。要は、オオカミが橋の上を渡っていて、意地悪をするんですよね。そこに熊が出てきて、熊がよっこらしょって、オオカミを、一本橋を抱えてやるんですけど、イラストがそこにあります。その表情がちゃんと文章と同じような表情で豊かなのは、東京書籍で非常に豊かな表情と、最初のオオカミの本当に悪そうな顔から、最後のウサギを抱えてよっこらしょってやる顔の表情が全然違う表情になっています。何か小学校1年生の最初の分については非常にいいイラストだなと思いつつながら、挿絵の中で学習していく上でいいなと、ちょっとそういうのも感じました。

○審議委員 東京書籍は、私、2年生のを見ているんですけど、何についての道徳の何について学ぶのかということがはっきり書いてあるんですよね。安心・安全についてやいじめについて、情報モラル、命についてなど、何についての道徳を学べたかというのがはっきり分かるなというふうに思いました。

ページに、ここからは何についてですよ、命について考えようとか、はっきりしているなと感じました。光村図書は、多分19の学びということで、道徳の「とく」で「19」としてあるのかと思いました。徳育に関わった者としては、ちょっと気になりました。

それで、一番最後に学びの記録シールというのが2年生についてるんですよ。この低学年はやっぱりシールを貼る魅力というのは、まだちゃんと持っているのかなと思って、これで何か学んだところにシールを貼っていくというのも、光村さんの子供の心をくすぐる

工夫かなというふうに思いました。

○委員長 ありがとうございます。何をここで学ぶのかということをはっきりさせるといのは、子供たちにとっても大切なことですし、また、それは指導する教師にとっても、ここではこれを学習するんだよというのが入ってくるというの、とても大切なことかと思えます。そういうのが東京書籍にはしっかりと明記されているということです。

光村図書の場合には、学んだ後にシールとか、そういうようなもの等があってということで、これは中学生でも喜びますし、小学生はそれが一つの学びの励みの一助になるというようなこと等もあるのかなということでございます。ほかにございませんか。

○審議委員 保護者として子供たちにやはり道徳を学んでもらうときには、今後多様性を考えますと、やっぱり話し合っで学んでいくというのが、一番大切なことじゃないかなと感じているんです。3者とも本当に話し合っで議論するというのがここに載っているの、すごくいいなと感じていますし、その中でも、さっき言われてましたが、光村図書は、もうちょっと具体的というか、深掘りして、何かいろいろ話し合っでいくというところに力を入れているというところが、親としてもすごくいいんじゃないかなというふうに感じました。

道徳に関しては、自分はこんな意見だけど、お友達はこんな意見なんだとか、そういったところを学校で学んでいくと、すごく親としてもありがたいかなというふうには感じています。

○委員長 ありがとうございます。とっても大切なことかなと思います。

いわゆる議論する、議論するというと非常に何か重々しくて難しいんですけど、話し合うとか、相手のことを理解していこうとかする、それもいわゆる多様性をどれだけ理解するのか、できるのかということですね。そういうのが光村図書には非常に、話し合おうとか、考えようとかいうところに注視されているということです。ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

○審議委員 光村図書の一番最初のページには、どの学年にも何となく命を大事にしないといけないということが書いてあるような気がして、今それを見てました。

○委員長 光村図書の一番最初、各学年ともいわゆる命についてのこと、いわゆる佐世保市にとっては非常に大きなものになってくるところをしっかりと押さえてあるというところが一つあるということでした。ほかに何か御意見ございませんでしょうか。

東京書籍、それから光村図書さんが結構いろんな特長が入ってきておりますけど、教育

出版のほうで何かお気づきのことはございますか。

現代社会の課題であるいじめとか情報について、クラス編制後の年度当初に設定してあるという報告が選定委員会から上がっていましたが。

○審議委員 選定委員会からの報告どおりだと思います。

○委員長 ほかに御意見等、ございませんでしょうか。

それでは、道徳は、本採択審議会では、東京書籍、教育出版、光村図書の3者を教育委員会へ推薦するという形でよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）ありがとうございました。

これで全ての種目の審議を終えました。

今回、理科の場合は大日本図書、教育出版、啓林館、生活科は光村図書、啓林館、保健は光文書院、学研、英語は東京書籍、三省堂、啓林館、道徳は東京書籍、教育出版、光村図書というところで、以上の結果を教育委員会に報告をさせていただいてよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

ありがとうございました。

本当に長い間、本当にありがとうございました。皆様のおかげで無事、採択審議委員会として教育委員会への報告をすることができることになりました。本当にありがとうございました。これにつきましては、今後、私のほうから責任を持って教育委員会へお伝えしていきたいというふうに考えておりますので、ありがとうございました。

それでは、採択審議委員会の全ての審議を終了いたします。

では、事務局のほうへお返しいたします。

○事務局 委員長様、ありがとうございました。委員の皆様におきましても、長時間にわたり熱心に御協議いただき、ありがとうございました。

本日の審議内容は、今、委員長さんからありましたけども、10日の前期教育委員会におきまして委員長さんより報告をされ、その後の教育委員会会議におきまして審議が行われ、令和6年度使用小学校教科用図書が採択されるという運びになっておりますことをお伝えしておきます。

それでは、最後に、鳩山学校教育部長が御挨拶申し上げます。

○事務局（次長） 失礼いたします。本来であれば、教育長から審議委員の皆様へお礼の言葉を申し上げるところなんですけれども、本日、別用務のため、出席ができませんでした。お礼のお言葉をお預かりしておりますので、私のほうから代読をさせていただいた

いと思います。

5月12日の第1回採択審議委員会に始まり、本日までの3か月余りの間、審議委員の皆様には、長期にわたりその責務を全うしていただきましたことに、まずもって感謝申し上げます。

御多用な中にもかかわらず、4回開催された審議委員会はもとより、選定委員会の傍聴におきましても御出席くださるなど、精力的に教科書採択の業務に取り組んでいただきました。審議の場におきましては、佐世保市の子供たちのことを第一に考えた温かい目線の御意見、また、それぞれのお立場からの幅広い視野で忌憚のない御意見等を多数賜りました。今回のこの結果を教育委員会の場におきましても十分参考にさせていただきながら、本市の児童にとって最もふさわしい教科書の採択に努めてまいります。

本日までの熱心な審議、本当にありがとうございました。

令和5年8月8日。佐世保市教育委員会教育長、陣内康昭。代読でございます。

皆様、本当にありがとうございました。お疲れさまでございました。

○事務局 皆様、これまでの長期間、また長時間の御審議、誠にありがとうございました。

なお、本日までの資料につきましては、机上において御退出いただきますようよろしくお願いいたします。また、8月末日までは本審議会の議事内容は非公開となっておりますので、改めましてお願い申し上げます。

これをもちまして令和6年度使用小学校教科用図書第4回採択審議委員会を終了いたします。どうぞ、お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。